



2020年8月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年7月6日

上場会社名 マニー株式会社
 コード番号 7730 URL <http://www.mani.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 高井 壽秀
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員社長 (氏名) 高橋 一夫
 四半期報告書提出予定日 2020年7月15日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 028-667-1811

(百万円未満切捨て)

1. 2020年8月期第3四半期の連結業績(2019年9月1日～2020年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期第3四半期	11,863	13.9	3,685	18.1	3,796	15.0	2,849	44.2
2019年8月期第3四半期	13,778	7.9	4,502	17.5	4,464	15.3	5,105	87.7

(注) 包括利益 2020年8月期第3四半期 2,705百万円 (11.8%) 2019年8月期第3四半期 3,068百万円 (7.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年8月期第3四半期	28.95	
2019年8月期第3四半期	51.87	

(注) 当社は、2019年9月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年8月期第3四半期	39,115	36,127	92.4
2019年8月期	39,813	35,327	88.7

(参考) 自己資本 2020年8月期第3四半期 36,127百万円 2019年8月期 35,327百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年8月期		30.00		30.00	60.00
2020年8月期		11.00			
2020年8月期(予想)				11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 1. 2019年8月期の中間配当金及び期末配当金には、それぞれ特別配当7円が含まれています。

2. 当社は、2019年9月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2019年8月期の配当金につきましては、当該株式分割前の実際の金額を記載しております。

3. 2020年8月期の連結業績予想(2019年9月1日～2020年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,449	21.2	3,778	35.6	3,774	33.7	2,988	51.0	30.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、2019年9月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。そのため、連結業績予想の1株当たり当期純利益については、当該株式分割後の発行済株式数(自己株式を除く)により算定しております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年8月期3Q	106,911,000 株	2019年8月期	106,911,000 株
期末自己株式数	2020年8月期3Q	8,484,435 株	2019年8月期	8,484,435 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年8月期3Q	98,426,565 株	2019年8月期3Q	98,426,778 株

(注)当社は、2019年9月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数(自己株式を含む)、期末自己株式数並びに期中平均株式数(四半期累計)を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入社している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(四半期連結貸借対照表関係)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における海外経済は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の世界的大流行に伴い、経済活動が抑制されたことで急速に減速しております。また国内経済においても、消費税引き上げの影響を受けた景況感の悪化に加え、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響により景気が足元で大幅に下押しされ、極めて厳しい状況となっております。

このような環境下、当社グループにおきましては、引き続き需要の拡大が見込まれる新興国市場において、各国におけるユーザーニーズの把握及び販売網の整備に努めておりましたが、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響によりマーケティング活動が制限されたこと並びに世界的に外科手術件数等が限定されたことに伴いサージカル、アイレス針、デンタル関連製品の全てのセグメントにおいて売上が減少しました。

生産面においては、2019年10月3日に発生したMANI HANOI CO., LTD. フーエン第1工場のクリーンルーム火災に対して代替生産を行う等の早期復旧に努めた結果、当工程における生産能力を火災前のレベルまで回復させることが出来ました。また、さらなる品質向上及びコスト削減に向けた生産工程の改善についても、ベトナム主体で生産の効率化及び生産技術の向上に努めてまいりました。

開発面においては、サージカル、アイレス針、デンタルの各セグメントの開発部門を集約させ、セグメントの枠を超えた技術交流・設備の共有化を図ることで効率的かつ強力に「世界一の品質」を実現・維持するための新製品開発ならびに既存製品改良研究体制を促進しました。また、新製品開発体制において、開発企画部門の強化を行い各セグメントで培った「コア技術」を結集することで技術交流を促進させました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は11,863百万円(前年同期比13.9%減)、営業利益は売上高が減少したこと等により3,685百万円(同18.1%減)、経常利益は為替差損が前年同期より減少したことにより3,796百万円(同15.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に計上された投資有価証券売却益が減少したことにより2,849百万円(同44.2%減)となりました。

セグメント別の業績概況は、次のとおりであります。なお、セグメントの売上高につきましては、外部顧客への売上高を記載しております。

(サージカル関連製品)

品質評価の高い眼科ナイフの売上が国内で好調に推移したものの、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の世界的な拡大により不要不急の手術が制限されたことに伴い、特に海外での売上が低調に推移したことから、売上高は3,823百万円(前年同期比6.6%減)となりました。また、利益寄与度の高い製品の売上高が減少したこと等により、セグメント利益(営業利益)は1,120百万円(同15.6%減)となりました。

(アイレス針関連製品)

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響により病院での手術件数が制限されたことに加え、一部海外大口顧客における在庫調整の影響もあり、売上高は3,438百万円(前年同期比22.3%減)となりました。また、売上高が減少したこと等から、セグメント利益(営業利益)は1,378百万円(同22.8%減)となりました。

(デンタル関連製品)

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響により主にアジア、欧州地域のクリニックが一定期間閉鎖されたことに伴いリーマ・ファイルの売上が低調に推移したこと、さらに歯科用実体顕微鏡等の販売終了による売上減により、売上高は4,601百万円(前年同期比12.5%減)となりました。また、売上高が減少したこと等から、セグメント利益(営業利益)は1,186百万円(同14.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ697百万円減少し、39,115百万円となりました。これは主に、投資有価証券が減少したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,498百万円減少し、2,987百万円となりました。これは主に、未払法人税等が減少したこと等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ800百万円増加し、36,127百万円となりました。これは主に、利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

また、資金調達の機動性及び安定性の確保を図るため、取引金融機関3社と総額50億円のコミットメントライン契約を締結いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、「(1) 経営成績に関する説明」のとおりであります。通期の連結業績予想につきましては、2020年4月7日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました数値に変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)を取り巻く事業環境は日々変化しており、合理的な算定が困難な状況であるため、通期の連結業績予想については変更しておりませんが、今後、当社の業績に重大な影響を及ぼす変化が観察された場合は、改めてお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,909,148	16,410,745
受取手形及び売掛金	2,300,649	1,738,513
有価証券	1,088	—
商品及び製品	1,241,945	1,058,831
仕掛品	3,076,132	3,692,231
原材料及び貯蔵品	1,565,711	1,785,569
その他	341,015	818,183
貸倒引当金	△3,238	△2,516
流動資産合計	25,432,453	25,501,559
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,035,034	3,943,284
機械装置及び運搬具(純額)	4,563,990	4,609,455
土地	1,132,979	1,132,979
その他(純額)	825,964	1,011,079
有形固定資産合計	10,557,969	10,696,798
無形固定資産		
のれん	255,763	180,891
ソフトウェア	23,523	22,265
その他	642,472	741,269
無形固定資産合計	921,759	944,426
投資その他の資産		
投資有価証券	2,310,735	1,531,457
繰延税金資産	382,333	231,809
保険積立金	193,761	192,438
その他	14,466	17,293
投資その他の資産合計	2,901,296	1,972,998
固定資産合計	14,381,025	13,614,223
資産合計	39,813,478	39,115,783

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	182,854	173,393
未払金	818,296	476,260
リース債務	—	44,243
未払法人税等	1,620,242	45,080
賞与引当金	387,075	247,129
火災損失引当金	—	100,579
その他	621,168	993,934
流動負債合計	3,629,637	2,080,621
固定負債		
リース債務	—	24,335
役員退職慰労引当金	79,610	88,640
退職給付に係る負債	632,656	644,133
資産除去債務	112,562	115,388
その他	31,875	34,730
固定負債合計	856,703	907,227
負債合計	4,486,340	2,987,848
純資産の部		
株主資本		
資本金	988,731	988,731
資本剰余金	1,036,311	1,036,311
利益剰余金	35,983,884	37,145,290
自己株式	△3,125,424	△3,125,424
株主資本合計	34,883,502	36,044,909
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	415,546	144,991
為替換算調整勘定	214,688	108,684
退職給付に係る調整累計額	△186,600	△170,650
その他の包括利益累計額合計	443,634	83,025
純資産合計	35,327,137	36,127,935
負債純資産合計	39,813,478	39,115,783

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)
売上高	13,778,980	11,863,867
売上原価	4,929,552	4,011,542
売上総利益	8,849,428	7,852,325
販売費及び一般管理費	4,347,358	4,166,415
営業利益	4,502,070	3,685,910
営業外収益		
受取利息	33,716	64,546
受取配当金	32,684	13,912
投資事業組合運用益	10,134	30,266
為替差益	—	50,343
その他	56,533	12,237
営業外収益合計	133,069	171,306
営業外費用		
支払利息	110	1,695
シンジケートローン手数料	—	15,020
持分法による投資損失	5,028	17,306
為替差損	158,941	—
自宅待機時休業補償等	—	26,345
その他	6,768	89
営業外費用合計	170,849	60,457
経常利益	4,464,289	3,796,758
特別利益		
保険解約返戻金	58,349	2,182
固定資産売却益	24	36
投資有価証券売却益	2,749,996	529,423
受取保険金	—	13,369
特別利益合計	2,808,371	545,012
特別損失		
固定資産売却損	1,595	3
減損損失	35,122	—
固定資産撤去費用引当金繰入額	16,000	—
固定資産除却損	26,733	5,279
役員退職慰労金	28,540	282
火災損失	—	201,588
特別損失合計	107,991	207,153
税金等調整前四半期純利益	7,164,669	4,134,617
法人税、住民税及び事業税	2,087,556	1,096,773
法人税等調整額	△28,516	187,941
法人税等合計	2,059,039	1,284,715
四半期純利益	5,105,629	2,849,902
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,105,629	2,849,902

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)
四半期純利益	5,105,629	2,849,902
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,049,751	△270,555
為替換算調整勘定	△4,652	107,426
退職給付に係る調整額	12,222	15,950
持分法適用会社に対する持分相当額	5,200	2,602
その他の包括利益合計	△2,036,980	△144,576
四半期包括利益	3,068,649	2,705,326
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,068,649	2,705,326

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

第1四半期連結会計期間より一部の在外連結子会社においてIFRS16号「リース」を適用しております。これにより、借手のリース取引については、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。当該会計基準の適用にあたり、当社グループは経過措置として認められている累計的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の有形固定資産の「その他」が67,381千円増加し、流動負債の「リース債務」が44,243千円及び固定負債の「リース債務」が24,335千円増加しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

連結子会社のうちMANI HANOI CO., LTD.、MANI VIENTIANE SOLE. CO., LTD.、MANI MEDICAL HANOI CO., LTD.、GDF Gesellschaft für dentale Forschung und Innovationen GmbHの決算日は6月30日であります。連結財務諸表の作成に当たっては、同決算日現在の決算書を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行ってりましたが、連結財務諸表のより適正な開示を図るため、当第1四半期連結会計期間より連結決算日である8月31日に本決算に準じた仮決算を行い連結する方法に変更しております。

また、連結子会社のうちMANI YANGON LTD.の決算日は9月30日であり、馬尼(北京)貿易有限公司の決算日は12月31日であり、MANI MEDICAL INDIA PRIVATE LIMITEDの決算日は3月31日であります。連結財務諸表の作成に当たっては、6月30日現在で実施した本決算に準じた仮決算に基づく決算書を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行ってりましたが、連結財務諸表のより適正な開示を図るため、当第1四半期連結会計期間より連結決算日である8月31日に本決算に準じた仮決算を行い連結する方法に変更しております。

なお、当該連結子会社の2019年7月1日から2019年8月31日までの損益については、利益剰余金の増減として調整をしております。

(四半期連結貸借対照表関係)

当座貸越契約及びコミットメントライン契約

当社は、運転資金の効率的な調達を行うため、取引銀行3行と当座貸越契約を締結しております。

また、資金調達の機動性及び安定性の確保を図るため、取引金融機関3社とコミットメントライン契約を締結しております。これらの契約に基づく借入未実行残高等は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
当座貸越限度額及びコミットメント ライン契約の総額	800,000千円	5,800,000千円
借入実行残高	—	—
差引額	800,000	5,800,000

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年9月1日至2019年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	サージカル 関連製品	アイレス針 関連製品	デンタル 関連製品			
売上高						
外部顧客への売上高	4,093,527	4,425,489	5,259,963	13,778,980	-	13,778,980
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	147,480	-	147,480	△147,480	-
計	4,093,527	4,572,970	5,259,963	13,926,461	△147,480	13,778,980
セグメント利益	1,327,720	1,784,664	1,389,685	4,502,070	-	4,502,070

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年9月1日至2020年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	サージカル 関連製品	アイレス針 関連製品	デンタル 関連製品			
売上高						
外部顧客への売上高	3,823,677	3,438,964	4,601,225	11,863,867	-	11,863,867
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	156,436	-	156,436	△156,436	-
計	3,823,677	3,595,401	4,601,225	12,020,304	△156,436	11,863,867
セグメント利益	1,120,665	1,378,453	1,186,791	3,685,910	-	3,685,910

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。